

# 囲碁入門講座通信 令和4年 第51号



報告:有楽斎

毎月第二日曜日の午後1時半から午後4時ごろまで、朝日2丁目集会所で「囲碁入門講座」に、それなりに一所懸命取り組んでいるのですが、新型コロナウイルス感染を防ぐために、「三つの密」密閉・密集・密接を避けがたく、まことに口惜しところですが、**現在休局中**です。

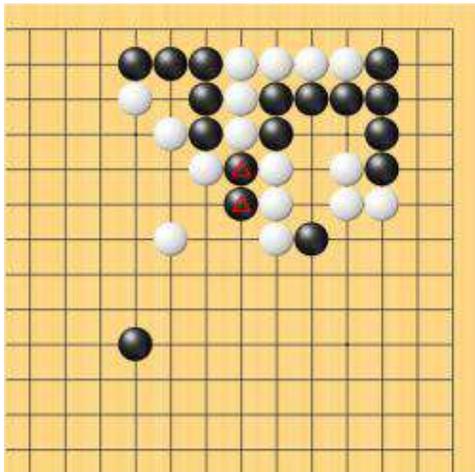
(棋士名は椿に因んだ名をニックネームとして表記しています)

今号でも 直観力とヨミの精度を鍛える詰碁問題をご案内したいと思います。

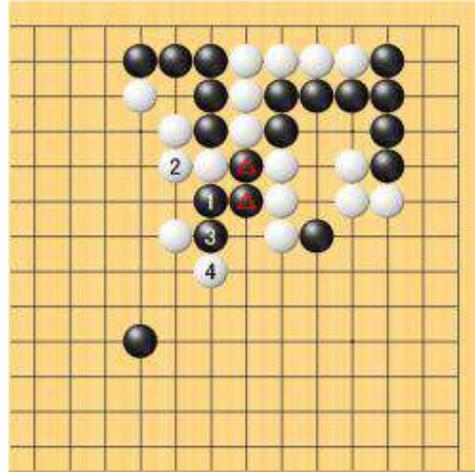
(監修:太神楽(だいかくら)師匠)

**手筋問題 攻防の手筋と攻め合いの手筋。読み抜く力をつける** 白と黒の石が切り結んでいるとき、その要の石を含む一団を取るか取られるかは、勝敗を決しかねない大きな問題です。ここではそんな中盤の攻防、攻め合いに強くなるための手筋問題を6題ほど用意しました。

**手筋問題1 黒番 攻防**  
黒▲2子を助けてください。

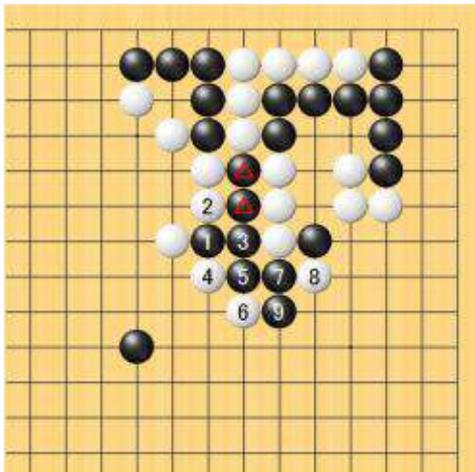


**正解と解説**  
手筋問題1 失敗



黒1とアタリをキメてしまっ  
ては、白2とつが  
れもう助かりま  
せん。黒3には白  
4まで。  
黒3で白4や、  
白4の右トビも、  
白に出切られて  
それまでです。

**手筋問題1 正解**

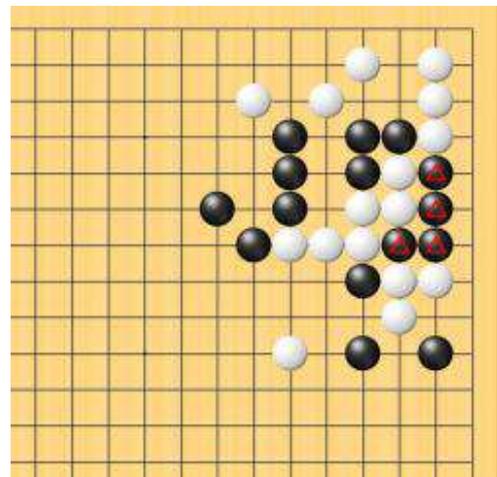


黒1のコスミツケが正解です。白2、4、6でシチョウのようなのですが、黒9までとなったとき、白8の上の黒石がシチョウアタリになっています。

なお、白2で4のオサエには、

2の左上に切って黒は上辺の5子につながります。

**手筋問題2 黒番**  
攻防 黒▲4子を助けてください。



**正解と解説**は次号(第52号)でご案内します。お楽しみに